

日本天文学会・ネットワーク委員会 議事録

開催日時：2018年7月2日、15:00-17:30

開催場所：三鷹市・国立天文台・すばる棟院生セミナー室

出席者：望月優子（委員長）、伊王野大介、山下卓也、鈴木知治、生田ちさと（後半より参加）、本原顕太郎、平松正顕、田村陽一（Zoom参加）、佐藤良信（事務長）、林 左絵子（副会長：オブザーバー参加）

・ 新委員について

正式に委員となるには9月の理事会での承認が必要であるが、会長などの実務理事と現ネットワーク委員に了解を得ている本原顕太郎、平松正顕、田村陽一の3名の方に実質的に新委員として学会ホームページのリニューアル作業に参加していただくことになり、今回の委員会に参加して頂いている。

・ 学会ホームページリニューアルの方針

- 予算は 320万円程度
- コンペを行って業者を決定する。候補の業者には佐藤事務長から連絡してもらう。
- HP等には公開しない。アルマのホームページ作成の際には一般向けのサイトでは800万円の上限価格でコンペを行ったが、声をかけた9社中2社しか応募がなかった。コンテンツの移行と新規製作を含んだ内容。研究者向けのサイトは200万円でコンペなし。コンテンツはそのまま。
- 代議員からの意見としては、一般の人に向けて魅力のあるものにして欲しいとの意見と、会員向けのをさらに充実してほしいという意見があった。
- 一般向けの部分は、インターネット版天文学辞典／全国同時七夕講演会／ジュニアセッション／講師紹介プログラム(天文教育委員会)／記者会見の情報アップデート／公開講演会、などで特に一般向けコンテンツのためのイベントを作る努力は委員会ではしない。
- イベントとしては、春秋年会、100周年IAUシンポなどの紹介ならば可能(?)。
- 会員向けのものに、リンク集を載せることについては、会員のキーパーソンがいるものに限る。(例：「星空案内人(星のソムリエ)」「宇宙を学べる大学」)本当に必要か?との疑問が出され、とりあえずは保留となった。
- 代議員からの意見として、社会へのアピールとして学会賞以外の会員の受賞についてのページもある方がよい。ノーベル賞、恩賜賞、学士院賞、仁科賞については、学会がサーベイをして掲載する(本人・関係者からの申告は必要なし)
- マイページについてのひとしきりの議論があった。所属先、メール連絡先等、個人情報表示・編集、会費の支払い、選挙の投票、月報の閲覧、現時点の職位、キャリア調査(個人情報の観点から容易ではない)
- マイページは庶務理事主導で、何を含めるか、各所と調整が必要な実務理事マター。ネットワーク委員会の仕事の範疇ではない。予算も別。
- ホームページを受注した業者にマイページの経験があれば、後から依頼するのが良いかもしれない。

・ 進捗報告

望月ネットワーク委員長より学会ホームページ開発のこれまでの経緯の説明があった。

・ 仕様書案の検討

アルマ望遠鏡サイトの仕様書をベースにして仕様書に記載する項目について検討した。

- サイトの更新にワードプレスなどのCMS対応のソフトを使用するか?
更新の頻度が少ない(月1-2回程度)なら必要ではない。

CMS対応を仕様に入れると値段は高くなるが更新は楽になる。

<継続審議>

=>後日確認したところ、サイトの更新頻度は週3-4回（月12-16回）。

- スマホなどモバイル対応について
<継続審議>年会プログラムについてスマホ対応があったほうがよいかどうか。若手世代の観点を考慮。
- ページを印刷する際に正しいフォーマットで印刷されるようにする。
- ユニバーサルデザイン
- 発注側の作業として、サイトマップを積極的に提案することが必要。
以前ホームページ案の階層構造はあるので、それを元に考える
原案担当：平松、本原、鈴木、望月（たたき台案：平松）
- 仕様書案担当：平松
- コアで作った案は委員と佐藤事務長で情報共有し、なるべく全員がコメントするようにする。
- セキュリティアップデート
CMSを使わない場合はOSのアップデートだけですむ
CMSを使う場合は、業者にCMSのアップデートを依頼しないといけない
不正アクセスされていないか等を調べるなどの保守契約は月10万円（年間120万円）かかるのが相場。
委員長が会計理事と相談（旧ネットワーク委員5名には既に周知されているが、8/6(月)にサイトリニューアル進捗報告と経費相談のための実務理事会があるのでそこで相談）
- 学会ウェブサイトとマイページは安全面からサーバーを別にする方がよい
ログインされるサーバーは管理が大変
マイページを希望しない会員がいると考えられるが、その対応：他学会はマイページに移行している
マイページではなく、まず電子投票からはじめてはどうか？
会費の支払いサービスはある
- 佐藤事務長から人事的(人件費が上がっていく)観点から、マイページはマスト、という意見があった。
- 国立天文台サブネットから独立させた後の学会サーバーの維持・管理に数万/月が必要。見積りを開始する。
- 学会としての個人情報保護のルール制定が庶務理事にて進められているという情報共有があった。
- 英語版
現在の英語ページの内容をそのまま移行する：
日本天文学会はどのような学会かについて概要の英語版案は事務長に作って頂く
- スケジュール
9月頭に仕様書完成、年度内に納品を目指す
コンペするなら評価項目を作成する必要がある
委員が実績を元に推薦する3-4社に声がけし、(HP公開等はしないので)うち2社がコンペ参加の意思を示せば上々（委員会開催中に出た声がけ候補：応物学会サイトの業者(事務長調査済み)、ネット天文学辞典の製作者、アルマ望遠鏡研究者サイトの製作者、他、今後の委員の推薦による)

・ その他

リニューアルについての最終決断者は望月広報理事である